

地方会議（長野県諏訪市）

1. 日時、場所

平成24年5月13日（日） 14時00分～16時00分
長野県諏訪合同庁舎5階講堂

2. 参加者

地元の若手・女性の中小企業経営者等 110名

3. 参加者の意見

（1）出された意見数（課題別）

全体意見数	28
資金調達	3
経営指導・経営支援	5
技術力・人材（技能承継等）	4
取引関係（下請取引・流通構造等）	1
販路開拓（海外展開等）	3
若手・青年層の活力発揮	2
女性層の活力発揮	1
「地域」の中の中小・小規模企業（商店街等）	5
その他	4

（2）主な意見

【資金調達】

- ・研究段階は補助金でいいが、実際にそれを産業化・事業化していく中で、エクイティを入れてもらえる公的機関や制度が欲しい。
- ・技術力を高めると設備投資が必要になるが、そのリスクを恐れてタイミングを逃し、負のスパイラルから抜け出せない企業が多い。
- ・保証協会の一社あたりの限度枠の増額や保証料の補助というところで、政策的なものを見直して欲しい。

【経営指導・経営支援】

- ・経営者になる方は、財務的な分析を出来るよう数字を理解できる勉強をして欲しい。税理士は税金のことのみにらず中小企業のビジネスドクターとしてやらないといけない。税理士を上手に活用して欲しい。
- ・中小企業支援事業ネットワークは重要な施策で継続をお願いしたい。

- ・ 農業保全のために、新規就農者を増やしても低所得者が増え、10%以下しか生き残れない。新規就農者を増やすのではなく、規模拡大とか利益率を高くするとかの施策の方が農業復活につながる。

【技術力・人材（技能承継等）】

- ・ 各商工会議所に会社を退職したOBのような技術のプロを配置し、技術指導を行うといった施策が欲しい。
- ・ 技能五輪の「サービス部門」の県内選考会の参加が少ない。機会があってもサービス業の各企業が挑戦しておらず、精密機械業の企業とは大きな努力の差がある。

【販路開拓（海外展開等）】

- ・ 中小企業に頑張ってもらいたいとする一方で、海外に製造業を出してしまう政策は、どこに焦点を当てて、製造業を引っ張っていかようとしているか見えない。わかりやすい「ブレないビジョン」を出してもらいたい。

【若手・青年層の活力発揮】

- ・ 海外に比べて若手起業家が活躍していないのが現状。失敗してもやり直せるようなセーフティネットの構築が必要。

【女性層の活力発揮】

- ・ 社会進出する女性が増えている中、仕事と子育てを両立するため、不妊治療に対しての制度もぜひお願いしたい。

【「地域」の中の中小・小規模企業（商店街等）】

- ・ 郊外の大型店の乱立や道路整備により、観光客が中心市街地に来てもらえず、買い物客数が減少。地道に活動に取り組んでいかなければいけない。
- ・ 農商工官を連動させる地域の行政リーダーを養成することが重要。地域内のイベントの連携や効率化を図れば、街の賑わい、活性化に繋がる。

【その他】

- ・ 行政は、似たような政策を展開しており、横のつながりがない。縦割りの体質を改善して欲しい。
- ・ 国内需要が大変厳しい中で海外市場を取り組まなければならないが、原発問題がある。アジアでは上向きだが、ヨーロッパではシビア。より正確な情報を発信してほしい。